

議会とまちづくりを語る会 4年ぶりに6月1日開催

申込団体「とべ温泉を愛する会」からの事前通知議題

- 一、とべ温泉の閉館について
- 二、宮内共選跡地への児童館建設について

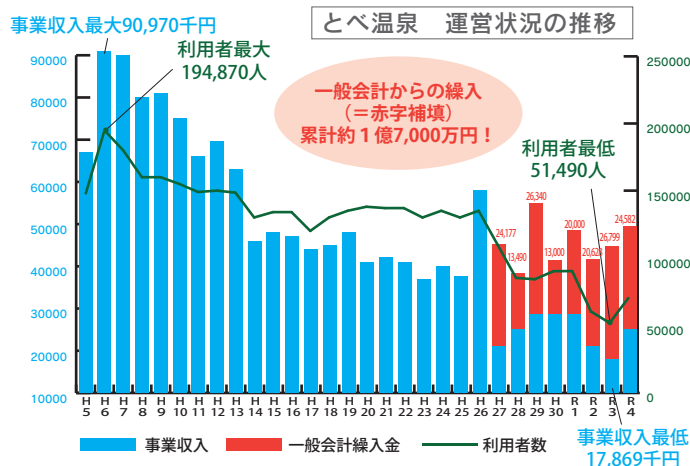


議長あいさつ

とべ温泉を愛する会の灘家代表の挨拶に続き、山口総務産業建設常任委員長から閉館に至った経緯の説明。

担当課から議会への説明内容

- 平成5年開館から10年余りは順調に推移していたが、入浴客減少により、平成27年度から8年間は赤字補填として、累計約1億7千万円を一般会計から繰り入れ。
- 民間同業者へ無償譲渡に向け、



議員全員協議会（昨年9月・12月）で出た意見

○29年前の設置当時と経済情勢が変わっている。人口減少の中で、

打診していたが協議が整わず。
○存続した場合、赤字経営が続くこと、開館から30年経過し、源泉の洗浄やポンプの更新、設備の老朽化による大規模改修に多額の費用が必要。
○近郊にも温泉施設があり、町営温泉施設の必要性に疑義がある。



あいさつする灘家代表

住民負担が増えるのであれば、施設を閉めるのも英断。
○費用対効果を見極め将来的に負担が増えるのであれば今のうちに廃止。
○一般会計から毎年数千円円の赤字補填しており、改善策がないのであれば、1日でも早く閉館したほうが良い。
討論を重ね、総合的に判断した結果、全会一致で閉館やむなしとの結論に至った。

出席者からの意見

- 高齢者が温泉を頻繁に利用すると、年間医療費が約1割削減された例がある。温泉と医療費の関係を検討したか。
- 温泉は子どものアトピーや認知症予防などに有効。
- 温泉改修の補助金があるので調



宮内共選跡地（宮内576番地）

宮内共選跡地への児童館建設について

査してほしい。
○食堂の売上を教えてほしい。
最後にとべ温泉閉館は誰が決めたのか。との質問に対し、担当課から経緯や現状の説明を受け、町長の提案に対し、議会が同意した。

共選跡地は宮内園芸管理組合の所有だったが、協議の結果、町への無償譲渡が決まり、今現在、町有財産となっている。従前から、宮内校区には児童館がないので、理事者に要望しており、高齢者福祉施設との複合施設を検討してもらっている。

出席者からの意見
○具体案が公表される前に利用者の声を聞いてほしい。地域住民の声を吸い上げてほしい。